

2004年3月期 決算説明会



2004年5月28日

株式
会社 **朝日ラバー**

グループ会社概要

会社名	株式会社朝日ラバー
創立	1970年5月
JASDAQ 上場	1998年9月
資本金	4億7,935万円
本店所在地	埼玉県さいたま市大宮区土手町
営業所	大阪営業所(大阪市城東区)
工場	福島工場、第二福島工場 (福島県西白河郡)
業務内容	工業用ゴム製品の製造・販売
従業員数	社員 163名 (H16.3月末現在)

会社名	株式会社ファインラバー研究所
設立	1987年4月
資本金	1,000万円
出資比率	100%
業務内容	ゴム・プラスチック等の研究開発

会社名	ARI International Corp.
設立	1999年6月
資本金	20万米ドル
出資比率	100%
業務内容	工業用ゴム製品の販売

会社沿革

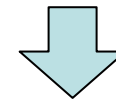
- 1970年 5月 有限会社朝日ラバー設立
- 1976年 6月 株式会社へ改組（株式会社朝日ラバー設立）
- 11月 米国安全規格（UL）4点取得。認定工場へ
- 1986年10月 福島工場を建設。操業開始
- 1987年 4月 株式会社ファインラバー研究所設立
- 1995年 4月 大阪営業所開設
- 10月 北米連絡事務所開設（米国イリノイ州）
- 1998年 9月 JASDAQ市場へ上場（証券コード 5162）
- 10月 ISO9001 認証取得
- 1999年 6月 米国イリノイ州にARI International Corp. 設立
- 2000年 3月 ISO14001 認証取得
- 2002年 3月 第二福島工場操業開始
- 2004年 6月 上海駐在事務所開設（予定）

事業系統図

株式会社フインラバー研究所



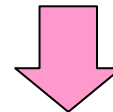
ゴム及びプラスチックに関する研究開発



工業用ゴム製品の販売
医療・衛生用ゴム製品の販売

ARI International Corp.

工業用ゴム製品の販売



国内・アジアの得意先

北米・中南米・欧州の得意先

決算実績(連結)

(単位:百万円、%)

	2004年3月期			2003年3月期		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
売上高	3,449	100.0	9.3	3,154	100.0	8.5
売上総利益	1,181	34.2	7.5	1,098	34.8	11.8
営業利益	233	6.8	34.9	172	5.5	75.1
経常利益	211	6.1	32.4	159	5.1	86.6
当期純利益	112	3.3	49.8	75	2.4	589.9
設備投資額	128	3.7	33.3	192	6.1	75.5
減価償却費	240	7.0	10.7	269	8.5	20.3

2004年3月期設備投資実績

設備投資金額 128百万円(連結)

主な内訳

・開発製品	
LEDホワイトキャップ関連	16百万円
超透明シリコーン関連	7百万円
医療関連	8百万円
・既存製品関連	54百万円
・環境関連	4百万円

決算実績(単体)

(単位:百万円、%)

	2004年3月期			2003年3月期		
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比
売上高	3,405	100.0	9.7	3,105	100.0	8.1
売上総利益	1,136	33.4	8.2	1,050	33.8	10.3
営業利益	208	6.1	30.6	160	5.2	88.8
経常利益	185	5.5	29.1	144	4.6	80.1
当期純利益	90	2.7	48.8	60	2.0	1,352.3
設備投資額	123	3.6	31.9	180	5.8	76.9
減価償却費	236	6.9	11.5	267	8.6	20.2

セグメント別決算実績(連結)

(単位:百万円、%)

	2004年3月期			2003年3月期		
	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比
工業用ゴム事業	3,100	89.9	8.9	2,846	90.2	15.1
彩色用ゴム製品	1,378	40.0	5.8	1,302	41.3	26.1
弱電用高精密ゴム製品	1,121	32.5	11.3	1,007	31.9	5.5
スポーツ用ゴム製品	254	7.4	19.5	213	6.8	5.0
その他工業用ゴム製品	345	10.0	7.1	323	10.2	24.0
医療・衛生用ゴム事業	339	9.8	20.2	282	8.9	28.0
その他事業	10	0.3	62.0	26	0.8	37.3
売上高合計	3,449	100.0	9.3	3,154	100.0	8.5

連結子会社の決算状況

会社名	(株)ファインラバー研究所	ARI International Corp.
設立	1987年4月	1999年6月
資本金	1,000万円	20万米ドル
出資比率	100%	100%
業務内容	ゴム・プラスチック等の 研究開発	工業用ゴム製品の販売
決算期	2004年3月期	2003年12月期
研究収入 / 売上高	9,600万円	1億7,073万円
営業利益	617万円	1,097万円
経常利益	739万円	1,801万円
当期純利益	486万円	1,306万円

円換算レート:1ドル115.73円

2005年3月期決算見通し

(単位:百万円、%)

	連 結			単 体		
	予測	構成比	前年 同期比	予測	構成比	前年 同期比
売 上 高	3,930	100.0	13.9	3,900	100.0	14.5
売上総利益	1,386	35.3	17.3	1,356	34.8	19.3
営業利益	311	7.9	33.4	306	7.8	46.4
経常利益	276	7.0	30.7	270	6.9	45.2
当期純利益	146	3.7	29.7	140	3.6	55.1
設備投資額	372	9.5	190.3	354	9.1	187.2
減価償却費	251	6.4	4.3	240	6.2	1.4

2005年3月期決算見通し(連結)

(単位:百万円、%)

	2005年3月期計画			2004年3月期実績		
	売上高	構成比	前年同期比	売上高	構成比	前年同期比
工業用ゴム事業	3,440	87.5	10.9	3,100	89.9	8.9
彩色用ゴム製品	1,587	40.4	15.1	1,378	40.0	5.8
弱電用高精密ゴム製品	1,130	28.8	0.8	1,121	32.5	11.3
スポーツ用ゴム製品	311	7.9	22.1	254	7.4	19.5
その他工業用ゴム製品	412	10.5	19.1	345	10.0	7.1
医療・衛生用ゴム事業	490	12.5	44.5	339	9.8	20.2
その他事業	-	-	100.0	10	0.3	62.0
売上高合計	3,930	100.0	13.9	3,449	100.0	9.3

2005年3月期設備投資計画

設備投資金額 372百万円(連結)

主な内訳

・開発製品	
LEDホワイトキャップ関連	70百万円
超透明シリコーン関連	50百万円
医療関連	90百万円
・既存製品関連	60百万円
・環境関連	20百万円

第8次三ヵ年中期経営計画

経営基本方針

お客様に満足いただく製品・サービスを提供し、
社会に貢献する。

独自の製品開発・素材開発で、
参入する分野でのトップシェアを狙う。

定量目標	2006年3月期	売上高	50億円
		経常利益	5億円

第8次三ヵ年中期経営計画

重点事業領域・・・自動車、情報通信、医療・介護

2006年3月期には

新製品・開発製品の売上高構成比を40%

LEDホワイトキャップ



超透明シリコン

重点戦略製品

SLAT



ディスプレイ製品(医療)

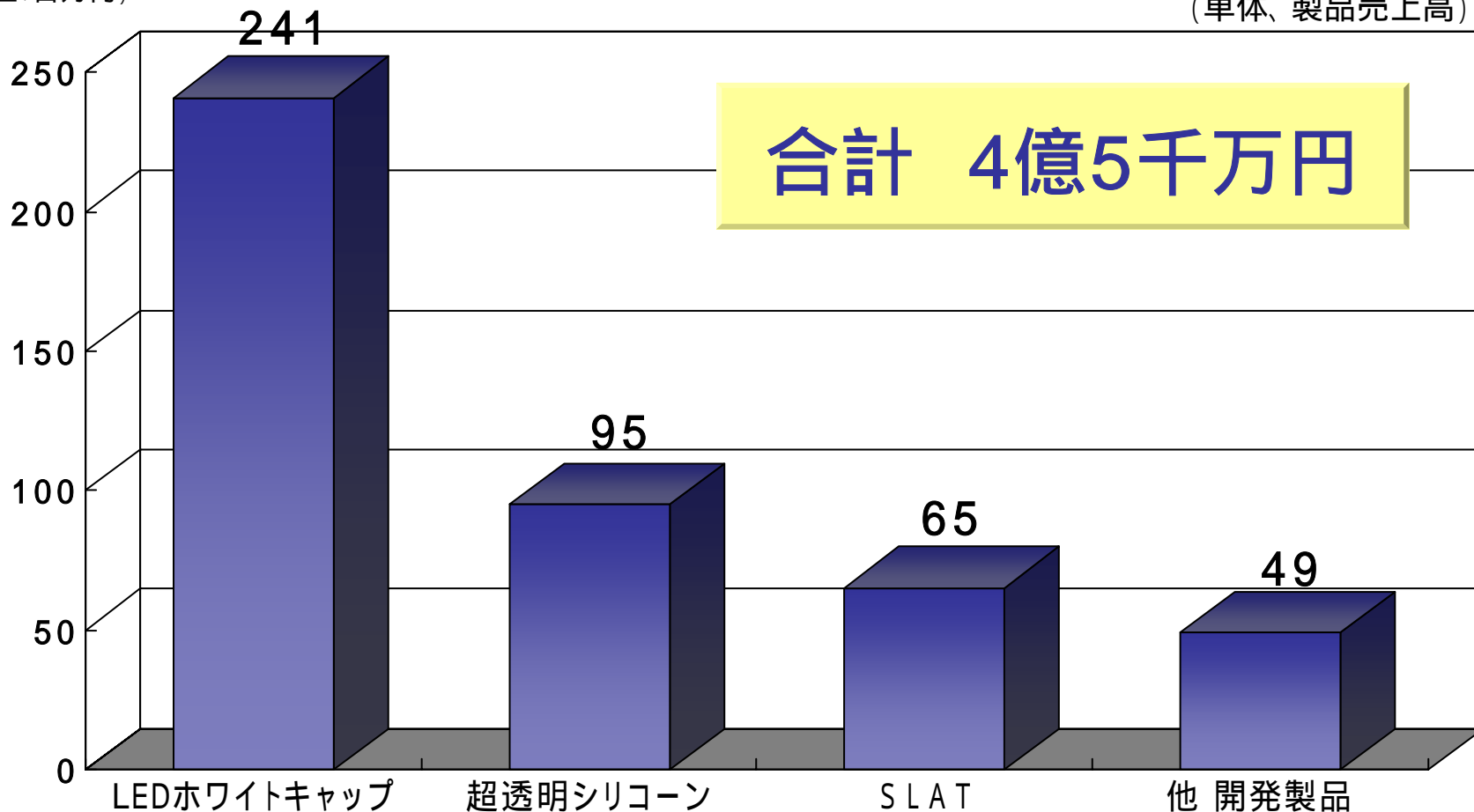


第8次三ヵ年中期初年度の状況

中期初年度新製品・開発製品売上高

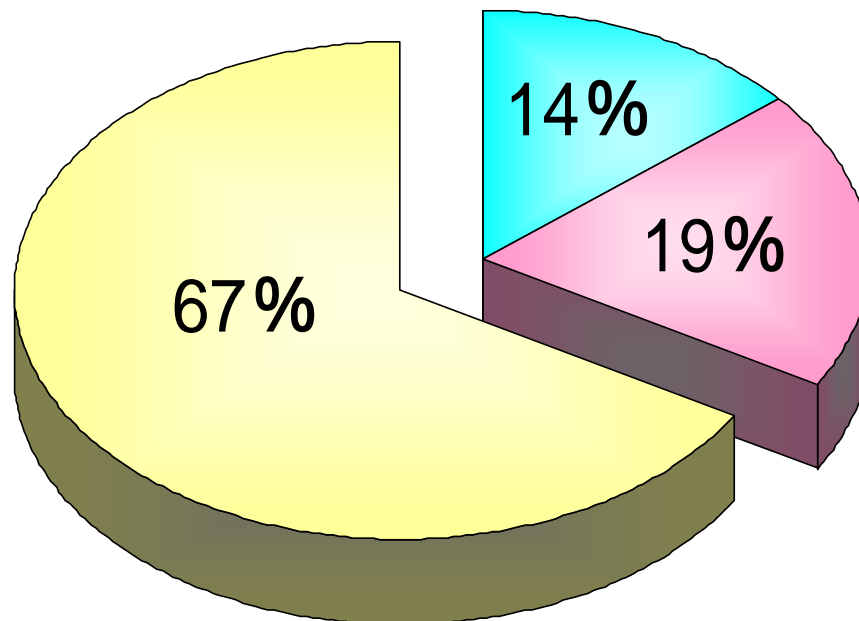
(単位:百万円)


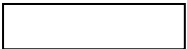
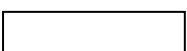
(単体、製品売上高)



新製品、新機種製品と既存製品

2004年3月期単体製品売上高構成比



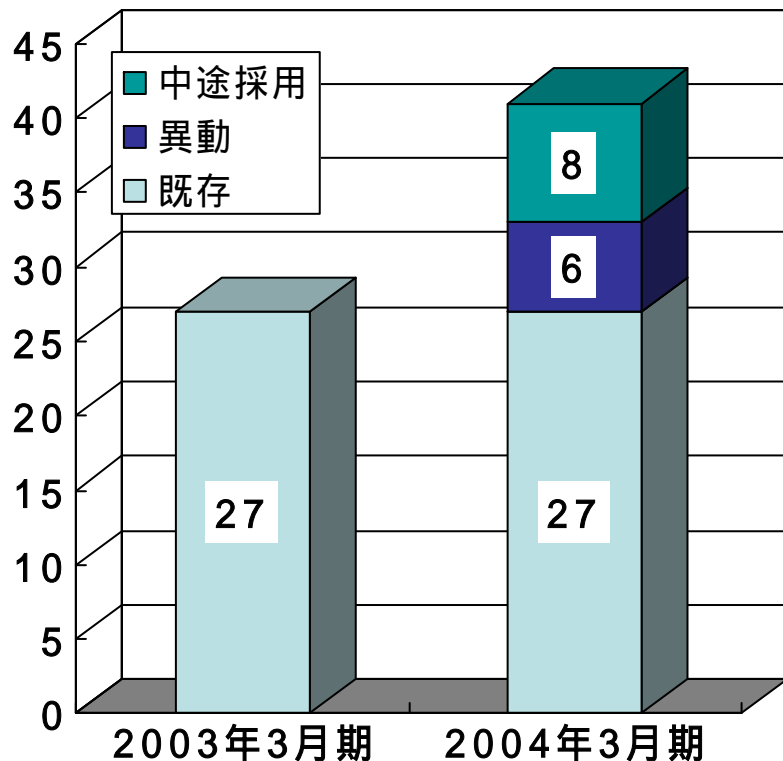
	新製品・開発製品	4億5千万円
	新機種製品	6億1千万円
	既存製品	21億3千万円

技術力と営業力の強化

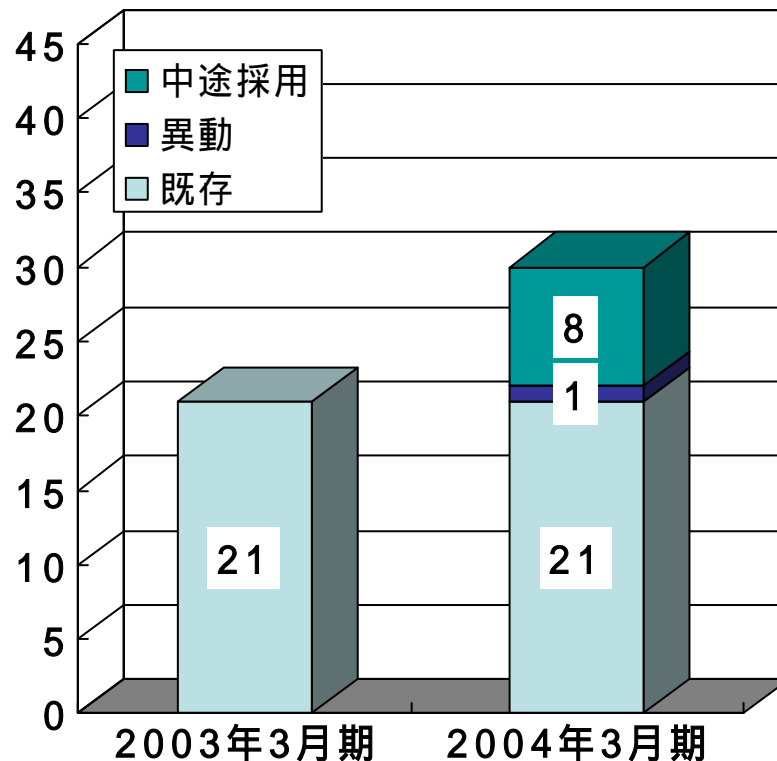
目的

開発製品の市場供給スピードを早める
市場認知度を向上させる

(人) 技術部門 14名増

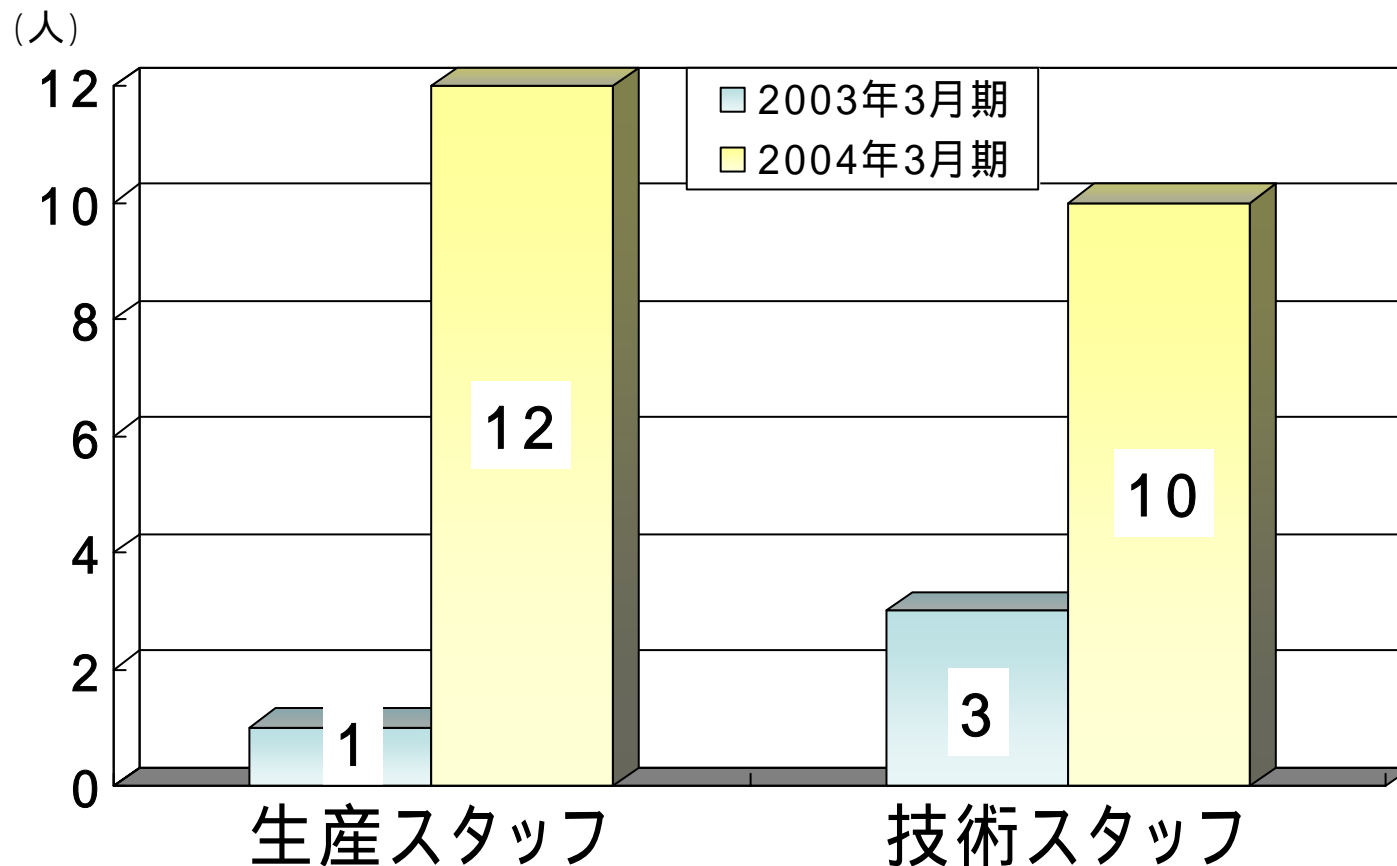


(人) 営業部門 9名増



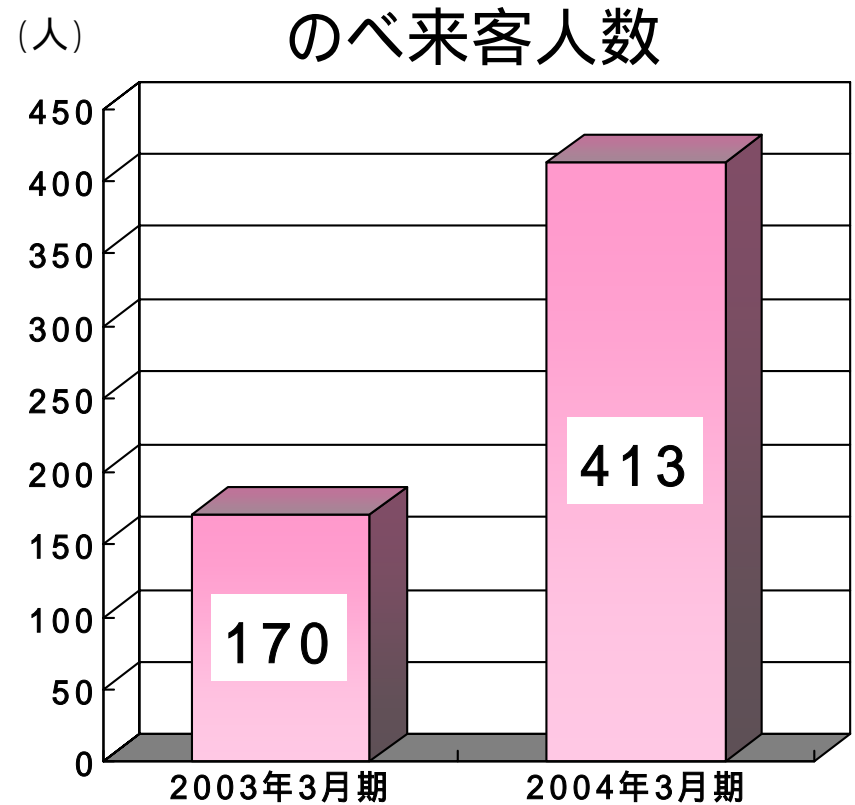
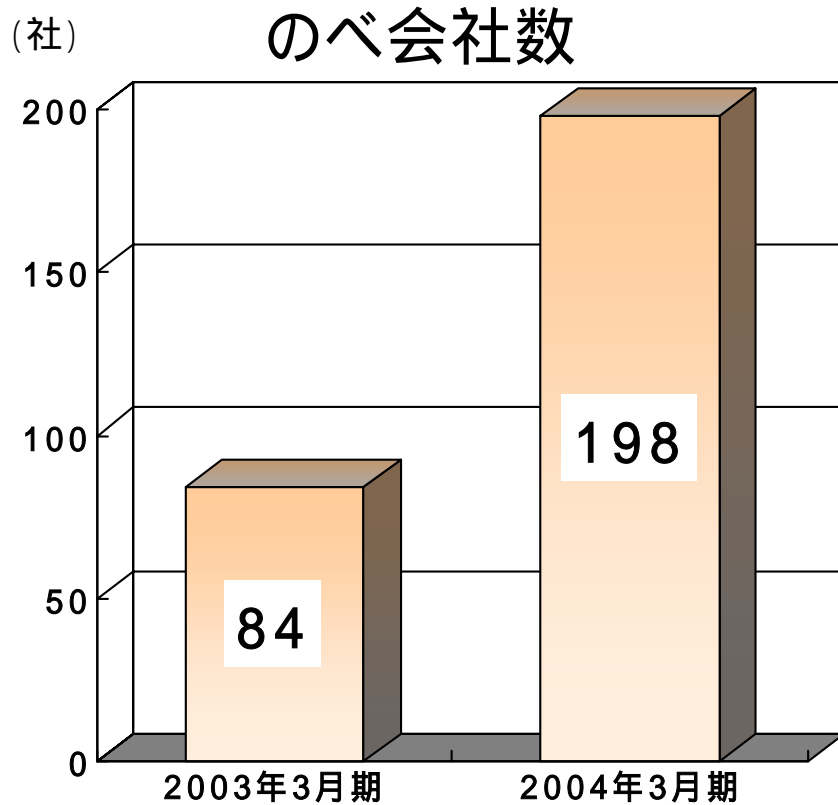
開発製品関連への人材投入

LEDホワイトキャップと超透明シリコンレンズに携わる
生産および技術スタッフの推移



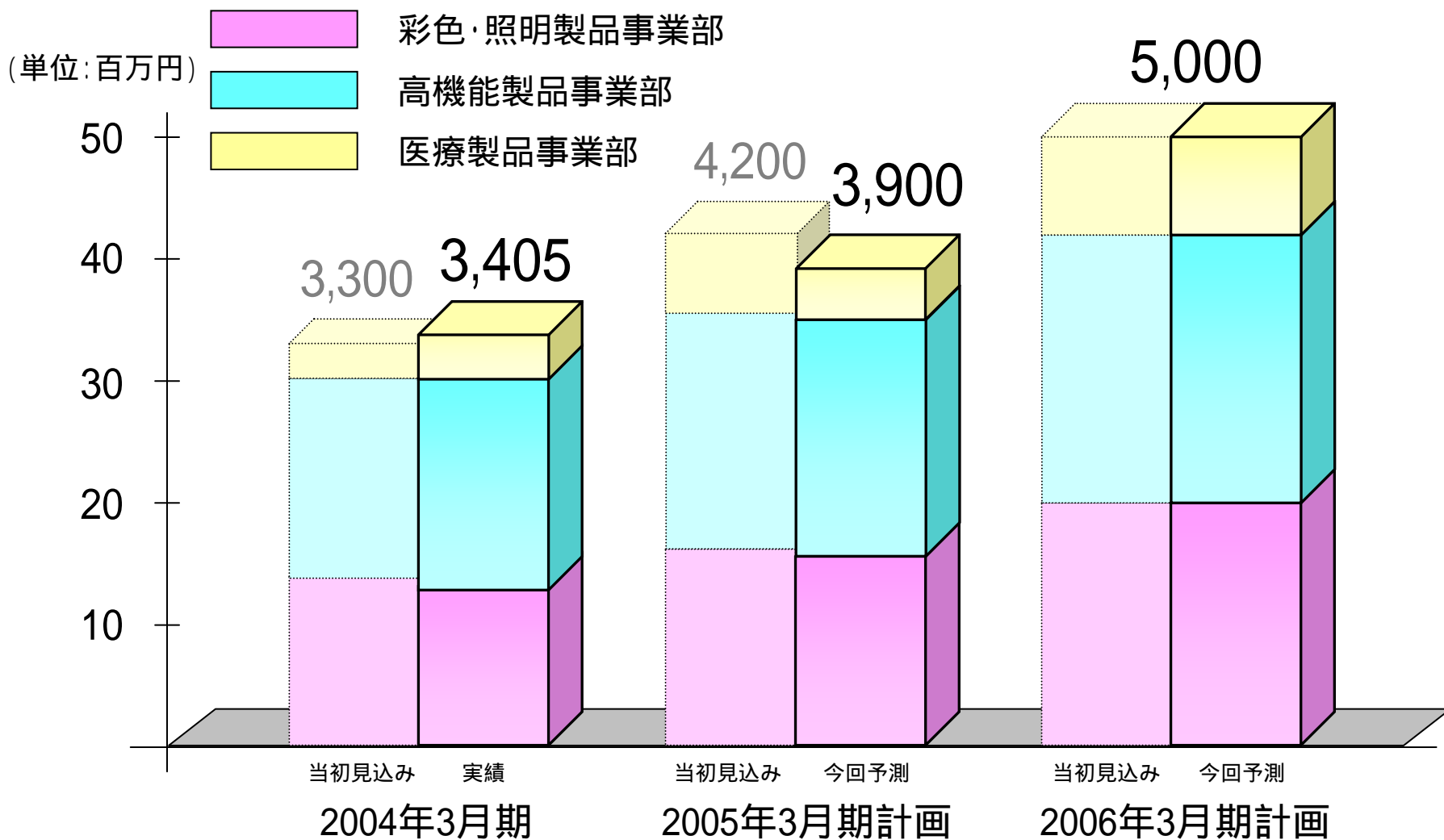
福島工場来客の変化

(団体等工場見学者を除く)



福島工場への来客が前期に比べ倍増
特に開発製品に関する来客が増加し、自動車メーカー、電装メーカーも来社

中期経営計画の進行状況(単体)



事業領域別 今期以降の取り組み

自動車領域

開発製品の増産体制確立と市場投入による認知度向上
国内・海外の新規顧客に参入

情報通信領域

当社独自の開発製品を積極的に展開

医療・介護領域

取引社数を6社に増やす

使用領域を拡大

点滴、採血用製品に血液回路製品をプラス

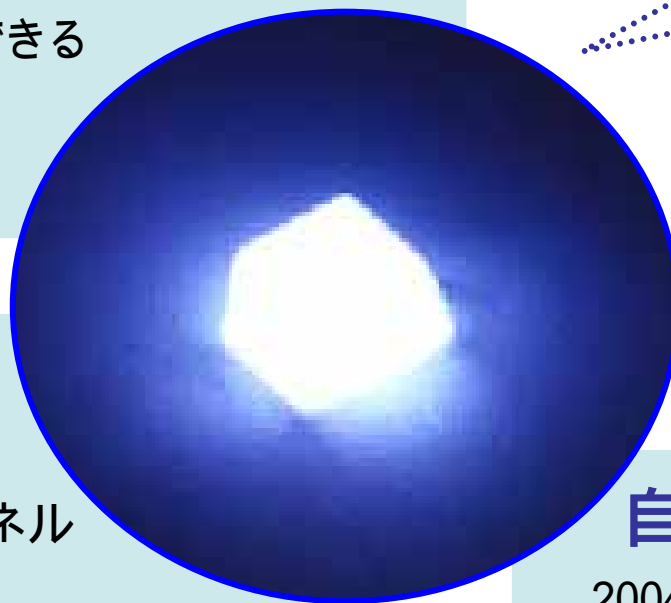
LEDホワイトキャップ

市場ニーズにマッチした特徴

- ・1,000色を超える豊富なカラーバリエーション
- ・色のばらつきを統一できる
- ・小ロットにも対応

自動車搭載箇所

- ・インストゥルメントパネル
- ・オーディオパネル
- ・ヒーターコントロールパネル



お客様の声

「LEDの色のばらつきが統一できると思っていなかった」

お客様の声

「リールで供給してもらえるので工数を減らすことができた」

自動車搭載実績と計画

2004年3月期	2005年3月期
5車種	5車種
	計10車種

自動車関連におけるLEDのメリット

LED照明のメリット

- ・長寿命でメンテナンスがほぼ不要
- ・省電力
- ・白熱電球より点灯立ち上がり速度が速い
- ・視認性に優れる
- ・デザインが自由

内装用の場合の利点

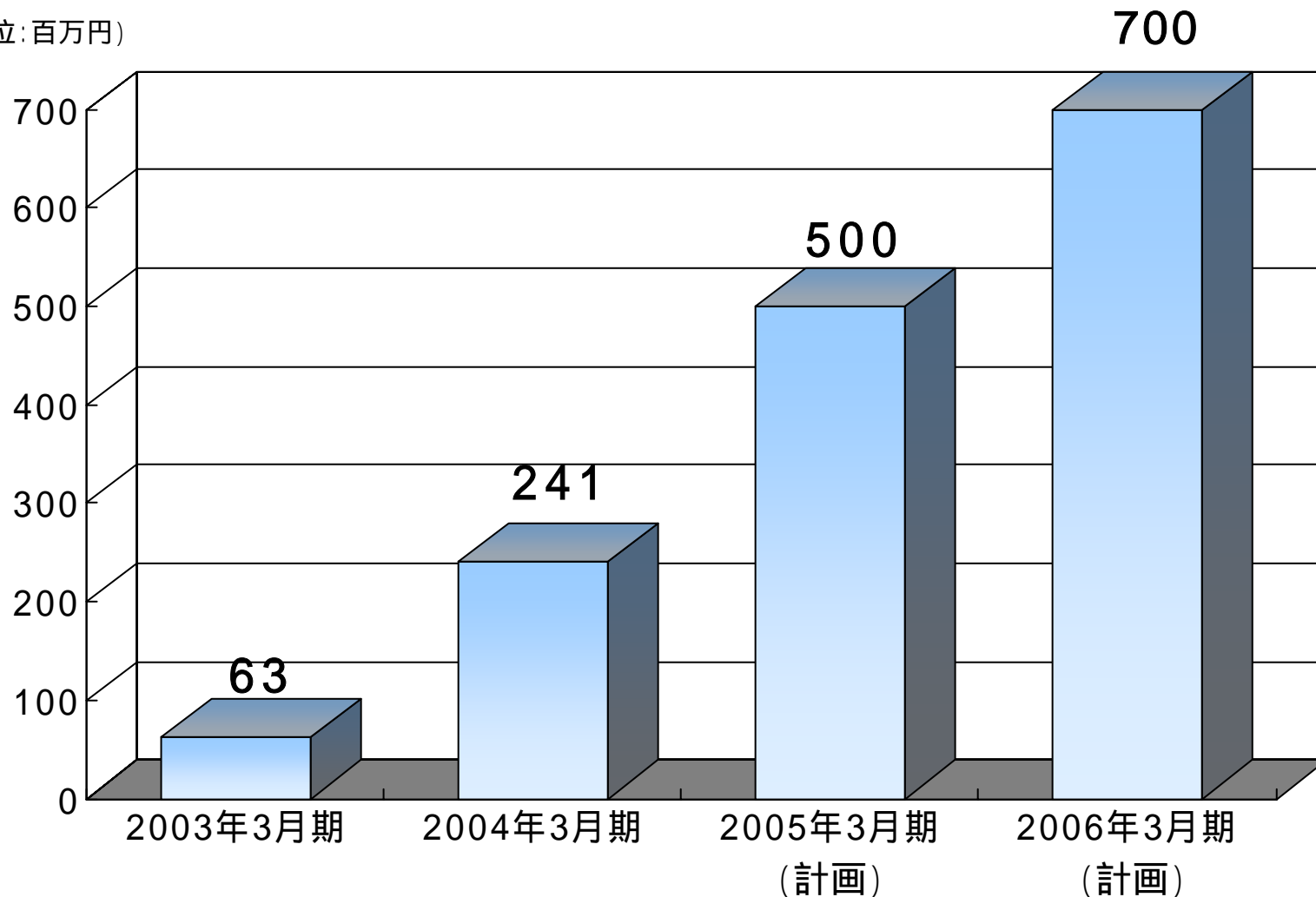
- ・寿命が長い
ランプが切れるとダッシュボード全体を取りはずす作業が発生し、メーカーにとって保障期間中の修理コストが高む。
- ・トータル生産コストが安い
LED単体だとランプに比べて高いが、制御用のシステム、生産工程を含めてパネル全体の生産コストを考えると安い。
- ・デザイン性に優れる
パネルのデザイン性やブランドイメージの訴求が容易。

(新エネルギー・産業技術総合開発機構「平成15年9月 国際的な省エネルギーを目的としたLED照明の普及戦略策定調査」より)

LEDホワイトキャップの売上計画

(単体、製品売上高)

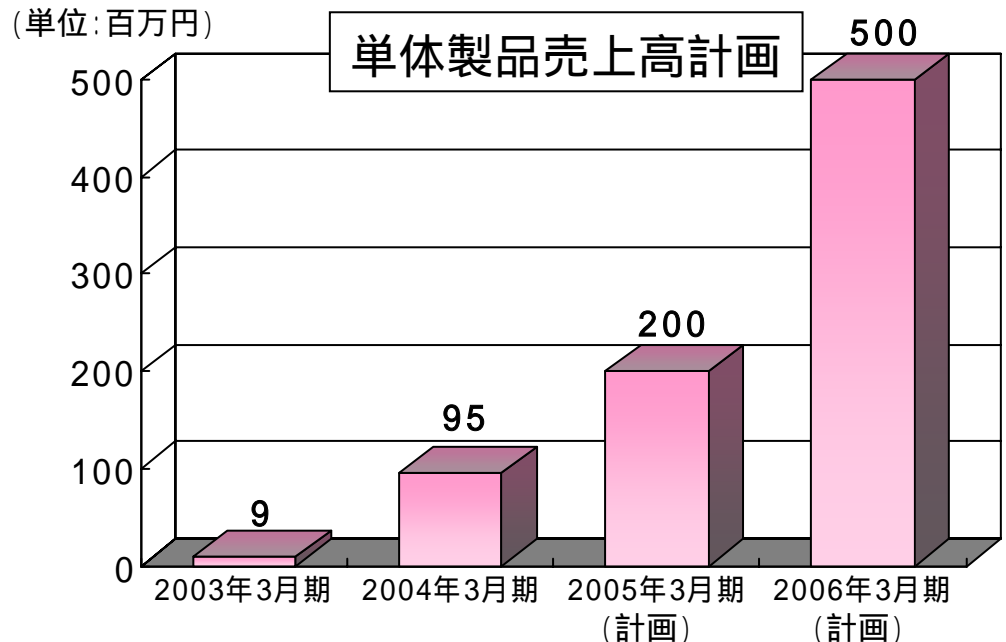
(単位:百万円)



超透明シリコーン

- 特徴
- ・ 94%の光透過性
 - ・ 耐熱性に優れ、鉛フリーハンダのリフローが可能
 - ・ 耐紫外線に優れ、変色しない

用途 車載市場をターゲットにした、
赤外線、可視光線の受光・集光レンズ



超透明シリコーンと他素材との比較

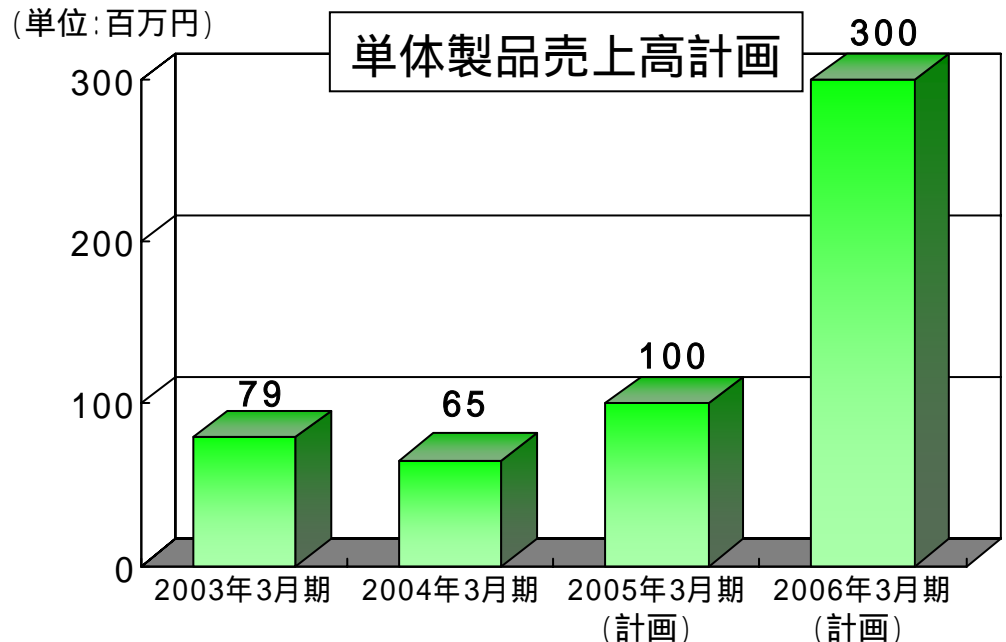
(当社作成)

	超透明シリコーン	ガラス	アクリル	エポキシ樹脂	ポリカーボネイト樹脂
透明性					
耐紫外線			×	×	×
耐熱性			×		×
軽量化		×			
成形性		×			
価格		×			

SLAT

特徴

- ・人体や環境にやさしい無溶剤型接着技術
- ・ゴムの加硫と同時に金属に接着するので、高い信頼性と小型化が可能
- ・携帯電話向け応用製品への取り組み開始



既存製品の効率化

新しい発想でのものづくり

- ・多品種少量生産への対応
- ・大幅な原価低減

1. 投資金額 従来の数分の一
小型で高速のプレスの開発
2. 検査費用の大幅低減のための
自動検査装置の開発

お断り

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、または転送などを行わないようお願いいたします。